

九州Jリーグホームタウン連携会議 2017活動方針

平成29年4月

おかげさまで、もっと、元気な九州へ。


九州JHT
九州Jリーグホームタウン連携会議



北九州市



福岡市



鳥栖市



諫早市



熊本市



大分市



鹿児島市

目次

九州JHTの概要	2
2017年活動内容	3
◇九州JクラブのPR	3
【取組1】メディア等での広報活動	
【取組2】各都市のイベント会場でのPR	
【取組3】各種公共施設等との連携事業	
◇ホームタウンのPR活動	4
【取組1】九州JHTブースの設置	
【取組2】スタジアムでの周辺イベントの実施	
【取組3】九州だJ！連携強化事業	
◇クラブとホームタウンの連携	5
【取組1】バトルオブ九州スタンプラリー	
【取組2】九州クラブ順位予想だJ！	
【取組3】バトルオブ九州優勝クラブ表彰	
◇ホームタウン間の連携強化	6
【取組1】各都市間の情報共有・連携強化	
【取組2】Jクラブとの意見交換・連携強化	

九州JHTの概要

◇ 名 称

九州Jリーグホームタウン連携会議（九州JHT）

◇ 目 的

九州地域におけるJリーグのホームタウンである自治体が連携を図り、九州地域の活性化に寄与すること。

◇ 理 念

九州JHTの理念は「おかげさま」

九州の7つのホームタウンが情報を共有し、クラブ、サポーター、企業などと連携した取組を行なうことで、地域をもっと元気にしたい。サポーター同士が触れ合う機会をもっとみんなに楽しんでもらい、笑顔が広がり、地域や世代を超えたつながりを広げたい。そしてもっと、自分のまちを、チームを、九州を好きになってもらいたい。この取組は、一人、一企業、一ホームタウンではできない取組です。

「おかげさま」を通して、相手を敬い、地域を愛し、みんなの笑顔で地域（九州）を元気にしたという想いを込めています。

◇ 組 織

九州Jリーグホームタウン連携会議メンバー（平成29年）

【会 長】 福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課長
（事務局は会長自治体である福岡市）

【副会長】 大分市企画部スポーツ振興課長 （スタンプラリー）

【会 員】 北九州市市民文化スポーツ局スポーツ振興課長

熊本市経済観光局文化・スポーツ交流部スポーツ振興課長

諫早市政策振興部スポーツ振興課長 （順位予想）

鳥栖市健康福祉みらい部スポーツ振興課長

鹿児島市観光交流局スポーツ課長

九州Jリーグホームタウン連携会議作業部会メンバー（平成29年）

* 北九州市 市民文化スポーツ局 スポーツ振興課 企画係長

* 福岡市 市民局 スポーツ推進部 スポーツ事業課 事業係長

* 鳥栖市 健康福祉みらい部 スポーツ振興課 スポーツ振興係長

* 諫早市 政策振興部 スポーツ振興課 主任

* 熊本市 経済観光局文化・スポーツ交流部スポーツ振興課 参事

* 大分市 企画部 スポーツ振興課 主事

* 鹿児島市 観光交流局 スポーツ課 主事

2017年活動内容

◇九州JクラブのPR

【取組1】メディア等での広報活動

ホームタウンや九州のJクラブチームを知っていただくために、ホームページ、各都市の広報紙、テレビ・新聞等で、九州JHTの取り組みや九州のJリーグ全般をPRする。



【取組2】各都市のイベント会場でのPR

各都市で行われるイベントに合わせて、7クラブのマスコット等が集結し、来場者に対して九州のJリーグや九州JHTの取り組みをPRする。



【取組3】各種公共施設等との連携事業

「図書館からスタジアムへ」「スタジアムから図書館へ」をキーワードに、全国の公立図書館有志が「図書館海援隊サッカー部」として、地元クラブに関する常設展示や対戦にちなんだ特設展示を行っている。

九州JHTも図書館やクラブと連携してこの活動に協力し、図書館という全都市に共通する文化施設を活用して、新たなファンの獲得をねらう。

また、図書館利用者の増加も期待することができ、取組そのものの話題性も相まった、地域への波及効果をねらう。

◇基本的取組

各都市の県立、市立図書館の図書館海援隊サッカー部への加入を推進し、ホームクラブに関する常設展示を行うことで、選手情報の発信や試合告知を行う。

また、クラブの協力を得て、フラッグやグッズ等の展示を行い、チームにちなんだ本や、選手がすすめる本の紹介等を行う。

◇2都市連携取組

対戦にちなんで、「バトルオブ九州図書館編」(仮称)を展開。2クラブや2都市に関する書籍、グッズ等の展示を行い、図書館でバトルオブ九州の事前告知を行う。

◇7都市連携取組

2013年図書館総合展(主催:図書館総合展実行委員会)が福岡市で開催予定。図書館海援隊サッカー部と協力し、九州JリーグのPR活動に取り組む。

・平成 28 年 2 月 26 日～12 月 28 日

三市一町図書館協力協議会「サガン鳥栖特別展示 2016」

「We love サガン鳥栖 ～図書館からキックオフ!～」

三市一町（久留米・小郡・基山・鳥栖）の図書館での各 2 回の巡回展示を行った。



◇ホームタウンのPR活動

【取組 1】九州 JHT ブースの設置

ゲーム後に観光地等を巡っていただくために、九州対決が行われているスタジアムで、各都市の観光情報などを発信する。

また、バトルオブ九州スタンプラリーや九州クラブ順位予想だ J! の応募場所としても活用する。



【取組 2】 スタジアムでの周辺イベントの実施

九州 JHT ならではの都市間交流活動として、スタジアムやその周辺で各都市の伝統芸能や物産展等を展開。

スタジアムに賑やかさを創出し、ホーム、アウェー両サポーターに向けた来場動機づくりと再来場意欲の向上を図る。

2都市間の取組として継続して展開し、7都市連携事業としての開催も検討する。

【取組 3】 九州だ J！ 連携強化事業

この取り組みは、九州 J クラブの合同イベントとして話題性が高く、スタジアムグルメ等を同時に展開することで来場者の増加や話題性の喚起が期待できる。

2017 年も、九州 JHT は九州だ J！ 活性化協議会に積極的に協力をを行い、九州だ J！ フェスタをはじめとする様々な取り組みを通して、九州の J リーグ全体への関心度の向上を図る。



◇クラブとホームタウンの連携

【取組 1】 バトルオブ九州スタンプラリー

バトルオブ九州に合わせ、各スタジアムを巡るスタンプラリーを実施し、抽選で各都市の特産品を贈呈する。2017 シーズンはディビジョンの違いはあるものの、7都市で実施し、アウェーゲーム観戦の楽しさに花を添える。



【取組 2】 九州クラブ順位予想だ J！

バトルオブ九州を盛り上げる取り組みとして、リーグ戦の成績に基づきバトルオブ九州における順位予想クイズを実施する。J1、J2、J3 の全てのディビジョンを予想し、的中者には抽選で各都市の特産品を贈呈する。

【取組 3】 バトルオブ九州優勝クラブ表彰

九州 JHT からバトルオブ九州優勝クラブに対する表彰を行う。シーズンを締めくくる、インパクトのある取り組みとして期待でき、バトルオブ九州に対する付加価値を高めることで、九州の J リーグに関する認知度の向上を図る。

J1、J2、J3 で1つずつ優勝カップの贈呈を行う。



◇ホームタウン間の連携強化

【取組 1】各都市間の情報共有・連携強化

各都市のホームタウンとしての先進的、効果的な取り組みに関する情報共有を強化し、実際のノウハウも含めて他都市へ提供、展開していく。

2市長による試合時のイベント参加や、スタジアムビジョンでの応援メッセージ放映など、試合の盛り上げにつながる取り組みを検討する。

他にも、アウェーサポーターに対するおもてなし策の実行、ホームサポーターに対するアウェー都市のプロモーションなど、各都市間や九州内の人流や物流の促進につながる取り組みを検討する。

優れた取り組みが各都市へ広がることで、九州Ｊリーグ全体の活性化に寄与する。

【取組 2】Ｊクラブとの意見交換・連携強化

九州フットボールクラブによる「九州だＪ！」活性化協議会（2017 事務局：アビスパ福岡）に代表で会長都市がオブザーバーとして参加するなどの連携を一層強化し、九州だＪ！フェスタなど共同事業など積極的に実施する。

また、イベント事業に限らず積極的な意見交換を行い九州全体の活性化につなげていく。